

第181回  
福島県都市計画審議会  
議案書

日 時 平成30年8月1日(水) 10時30分～

場 所 杉妻会館 4階 牡丹の間

福島県都市計画審議会

# 目 次

## ○ 報告事項

1. 第180回福島県都市計画審議会に付議された案件の報告	1
-------------------------------	---

## ○ 第181回福島県都市計画審議会審議事項

2. 議案	2
-------	---

○ 福島県都市計画審議会委員名簿	9
------------------	---

## 1. 第180回福島県都市計画審議会に付議された案件の報告

第180回福島県都市計画審議会に付議された案件は次のとおり告示となった。

議案番号	議 案 名	告示年月日	告示番号
議案第2010号	相馬地方都市計画臨港地区の変更について	平成30年3月30日	福島県告示第302号
議案第2011号	相馬地方都市計画緑地の変更について	平成30年3月30日	福島県告示第303号

平成30年8月1日

福島県都市計画審議会長

## 2. 議案

第181回福島県都市計画審議会に次の議案を提出する。

議案番号	議案名	決定区分(関係市町村)	備考
議案第2012号	相馬地方都市計画区域の変更について	福島県 (相馬市、南相馬市、 新地町)	都市計画法第5条第6項で準用する同 条第3項の規定に基づく議案
議案第2013号	二本松本宮都市計画道路の変更について	福島県 (二本松市)	都市計画法第21条第2項で準用する同 法第18条第1項の規定に基づく議案

平成30年8月1日

福島県都市計画審議会長

議案第2012号

相馬地方都市計画区域の変更について

相馬地方都市計画区域を次のように変更する。

黒字：変更前

赤字：変更後（変更箇所のみ表示）

名 称	面 積 (ha)	内 訳 (ha)	備 考
相馬地方都市計画区域	38,871 39,080	相馬市 11,982	
		南相馬市 22,220 22,429	南相馬市 209ha 増
		新地町 4,669	

「区域は計画図表示のとおり」

理 由

都市計画区域として新たに指定しようとする南相馬市深野地区（209ha）については、常磐自動車道のインターチェンジに近く、また、県道相馬浪江線が南北に通る交通の便の良いところであることから、今後の無秩序な開発行為や建築行為を抑制しながら、周辺の農地や自然環境との調和に配慮した都市の形成を図るため、新たに都市計画区域に含めようとするものです。

## 【 参 考 】

### 1 市町村の意見

市町村名	意見
相馬市	なし
南相馬市	なし
新地町	なし

議案第2013号

二本松本宮都市計画道路の変更について

都市計画道路中3・5・108号榎戸高田線を3・4・108号榎戸上竹線に、都市計画道路中3・4・111号作田  
 郭内線を3・4・111号作田茶園線に名称を改め、次のように変更する。

黒字：変更前

赤字：変更後（変更箇所のみ表示）

3・5・108号 榎戸高田線

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な 経過地	延長	構造 形式	車線 の数	幅員	地表式の区間における鉄道等 との交差の構造	
幹線街路	3・5・108	榎戸高田線	二本松市 榎戸一丁目	二本松市 高田	二本松市 上竹一丁目	約1,400m	地表式	—	12m	幹線街路と平面交差3箇所 幹線街路国道4号線と立体交差 JR東北本線と立体交差	
	3・4・108	榎戸上竹線		二本松市 上竹一丁目	—	約650m		2車線	16m	幹線街路と平面交差3箇所 JR東北本線と立体交差	

3・4・111号作田郭内線

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・4・111	作田郭内線	二本松市 作田	二本松市 郭内	二本松市 茶園一丁目	約1,560m	—	—	18m		
				二本松市 一丁目	二本松市 亀谷一丁目						
		作田茶園線		二本松市 茶園	—	約410m	地表式	2車線	20m	幹線街路と平面交差2箇所 幹線街路国道4号線と立体交差	
		(構造形式の内訳)	二本松市 茶園	二本松市 亀谷	JR東北本 線	約420m	嵩上式	—	18m	—	
	一丁目		一丁目	一級河川六 角川							
	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—
					約1,140m	地表式	—	18m 20m	幹線街路と平面交差3箇所 幹線街路国道4号線と立体交差		
					—	—	—	—	—	—	

「区域は計画図表示のとおり」



## 理 由

### 3・4・108号 榎戸上竹線（旧榎木高田線）

本路線は、市街地中心部から市街地東部へのアクセス性を向上し、交通の円滑化を図るため昭和25年に当初決定されたもので、3・5・103号杉田榎戸線を起点とし、阿武隈川左岸を終点としています。このうち3・3・1号国道4号線から起点側は、概成しており、J R東北本線より北側の市街地と3・3・1号国道4号線を結ぶネットワークを形成していますが、終点側については、当該路線から分岐、並行する国道459号が整備され、代替機能を担っています。このため、3・3・1号国道4号線から終点までの区間について計画を廃止し、路線延長を変更するとともに、区間の変更に伴い、名称を3・5・108号榎戸高田線から3・4・108号榎戸上竹線に改めようとするものです。

また、併せて都市計画法第11条第2項(平成10年11月20日政省令改正)の規定により、新たに車線の数を定めるものです。

### 3・4・111号 作田茶園線（旧作田郭内線）

本路線は、下成田土地区画整理事業の都市計画決定に併せ、市街地の南北の交通の円滑化を図るため、平成6年に当初決定されたもので、3・3・1号国道4号線を起点とし、3・5・104号若宮野辺線を終点とするものです。

しかしながら、下成田土地区画整理事業は、平成25年に廃止され、当初想定していた交通量が発生しない見込みとなりました。また、3・4・101号向原上竹線以北の区間は、鉄道、河川、道路を連続して跨ぐ高架式橋梁区間と、さらに丘陵部については大規模な切土区間となっており、整備費用が多額となることに加え、沿道利用が困難であり市街地内道路としての沿線への波及効果は見込めず、費用対効果は低いと判断されます。一方でJ R東北本線を跨ぐ道路として、3・4・102号松岡羽石線及び3・4・108号榎戸上竹線が、丘陵部については3・5・107号亀谷白合内線が概成し、代替機能を有している状況にあります。

3・4・101号向原上竹線以南の区間は、良好な居住環境を形成することを目的とした下成田地区計画の区域の中心部を通り、3・3・1号国道4号線へのアクセスする計画となっています。

このため、3・4・101号向原上竹線との交差点から終点までの区間を廃止し、路線延長を変更するとともに、区間の変更に伴い、名称を3・4・111号作田郭内線から3・4・111号作田茶園線に改めようとするものです。

また、併せて都市計画法第11条第2項(平成10年11月20日政省令改正)の規定により、新たに車線の数を定めるものです。

【 参 考 】

1 公聴会開催状況

開 催 日 平成29年1月10日  
公 述 人 なし

2 都市計画の案の縦覧及び意見書の提出状況

縦覧期間 平成29年2月28日～平成29年3月14日  
意見書の提出状況 意見書の提出なし

3 市町村の意見

市町村名	意見
二本松市	なし

# ○福島県都市計画審議会委員名簿

## 福島県都市計画審議会委員

平成30年8月1日

議席番号	部門名	職 名	氏 名	備 考
1	都市計画 (学識)	福島大学共生システム理工学類准教授	川崎 興太	
2	行政機関	東北運輸局長	吉田 耕一郎	福島運輸支局局长 代理 佐々木 雅幸
3	建築 (学識)	建築士	鈴木 深雪	欠 席
4	市町村長代表	郡山市長	品川 萬里	郡山市 都市整備部長 代理 浜津 佳秀
5	行政機関	東北経済産業局長	相楽 希美	欠 席
6	行政機関	福島県警察本部長	松本 裕之	福島県警察本部交通規制課長 代理 板垣 靖志
7	農業 (学識)	大熊町農業委員会 会長	根本 友子	
8	法律 (学識)	弁護士	菅波 香織	欠 席
9	行政機関	東北財務局福島財務事務所 長	山本 健治	東北財務局福島財務事務所 管理課長 代理 根本 浩之
10	県議会議員	福島県議会 議員	小林 昭一	欠 席
11	行政社会学 (学識)	福島大学行政政策学類准教授	西田 奈保子	
12	市町村議会議長代表	福島県町村議会議長会 会長	村上 昭正	欠 席
13	行政機関	東北地方整備局長	高田 昌行	福島河川国道事務所 副所長 代理 遠藤 徹
14	医療福祉 (学識)	いわき明星大学教養学部 教授	菊池 真弓	欠 席
15	行政機関	東北農政局 長	鈴木 良典	欠 席
16	商工 (学識)	いわき商工会議所 女性会 顧問	阿部 君江	
17	県議会議員	福島県議会 議員	阿部 裕美子	欠 席
18	経済 (学識)	福島大学 名誉 教授	山川 充夫	
19	地域づくり (学識)	特定非営利活動法人素材広場 理事長	横田 純子	

幹事 土木部長 杉 明彦  
土木部技監 鈴木 良治  
土木部政策監 玉根 吉正  
土木部次長(都市担当) 相澤 広志